

1. 1週間、マウスを6階の行動実験室において、毎日ハンドリングをする。
2. 1週間後、Barnes circular maze 実験を開始する。まずは Habituation を行う。
3. Habituation は飼育ケージからマウスを取り出して、自分の手に乗せて、逃避ボックスへ直接入れる。このとき、カーテンはおろさずに行う。
4. 1分後、マウスを逃避ボックスから取り出して、元いたケージに入れる。このマウスは15分間（1時間くらいでもいい）休ませて、もう一度トライアルする。このトライアルは3trial/dayで行う。トライアル後は逐一10%エタノールで掃除する。他のマウスをBCM実験させるときには、逃避ボックスの位置を変える。マウスは逐一ホームケージに戻す。
5. このHabituationを3trial/day行う。1日の実験が終わったら、行動実験室にある塩素のスプレーでBCMをきれいにする。
6. 翌日、Trainingを5日間行う。5min/trialで行う。Trial間隔は特に意識せず、順番がきたら行う。真ん中のシュパーBoxに入れてからカーテンを閉め、マウスがゴールと反対方向を向いたらスタートする(10sec以上待つてからだけど)。5min経っても逃避ボックスを見つけられなかったら、マウスを逃避ボックスへ誘導する。逃避ボックスに入ったら1min放置しておく。3回trial/dayとする。
7. 間違えて違う穴に落ちたり、BCMの台から落ちたりしたらケージにもどして、次のtrialがくるまで待機。このtrialはないものとする。
8. 他の穴に顔を入れたら、エラーとして数える。
9. Trainingが終わったら、Probe testを行う。3min/trialで行う。逃避ボックスを外して行う。このprobe testはどこに逃避ボックスがあるか覚えているかを確認するための実験である。1trial/dayでおこなう。
10. Reversal をする場合→Probe test の次の日、retraining を1日する。3trial/dayで行う。逃避ボックスは今までの場所で行う。
11. Retraining の次の日、Reversal を行う。このとき、逃避ボックスをTrainingの位置と180°ずらして行う。3trial/dayで行う。

データとして見るものは、逃避ボックスまでに入る時間(latency)、エラーの数(error)、他の穴の近くでうろうろしている時間(Time)を測定する。